

第 17 回千早赤阪村庁舎建設検討委員会会議録（要旨）

日 時 令和元年 6 月 5 日（水） 午前 10 時～午前 11 時 20 分
場 所 くすのきホール 2 階 会議室
出 席 者 磯崎委員長、仲野副委員長、阪辻委員、西野委員、城戸委員、久保委員、柴田委員、矢倉委員、関口委員、山形委員
欠 席 者 柳川委員、服部委員、豊田委員、楠本委員、伏井委員
事 務 局 清水副村長
総務課：日谷課長
人事財政課：中野課長
地域戦略室：赤阪室長、藤戸参事、木ノ本主査、下野主査、瓦谷主査、三芳
※基本設計担当 榊徳岡設計（3 名）
傍 聴 者 1 名
会議概要 開会
1. 議事
(1) 庁舎のデザインについて
(2) その他
閉会

【議事要旨】

1. 議事

- ※事務局より (1) 庁舎のデザインについて
(2) その他

についての説明を行い、委員から次の通り意見等がありました。

(柴田委員)

立面図で屋根に小屋のように突出している部分は何か。塔屋階平面図のどの部分に当たるか。

(徳岡設計)

平面図左上にある階段室である。

屋上に設置される機械類のメンテナンスに必要である。

また、建物の縦方向唯一の開口部であり、ここの窓を開けることにより上昇気流が発生し自然換気を促す。ガラス面から階段室の採光の役割もある。

(柴田委員)

台風など強風時、突出していることによる危険はないのか。

(徳岡設計)

下の階からボタン操作で開閉できる。風力センサーで自動的に閉鎖する。

(柴田委員)

東側立面図の文字の書かれている看板のようなものは何か。

(赤阪室長)

懸垂幕のイメージである。

(柴田委員)

道路から見える面に庁舎の標章的なものは無いのか。

(清水副村長)

選挙など啓発のための懸垂幕であるが、道路側に設置するのは、適当ではないかもしれない。

(柴田委員)

役場の看板的なモニュメントのようなものは無いのか。

(木ノ本主査)

10図アプローチの右側にある。反対側にもある。

(柴田委員)

何かモニュメント的なものがあってもよいのではないか。

(磯崎委員長)

ソーラーパネルについてどう考えるか。昨今電力買取価格も低迷している。設備に係る費用、メリット、非常時災害時の需要など、検討されたい。

(藤戸参事)

試算して検討したい。

(西野委員) パースをみると、周囲の緑に白壁が映えて美しいが、15年20年経過してどうか。

(徳岡設計)

外壁については、土壁状の塗装を考えている。平らではなく表情のあるもので、汚れが出てもみすぼらしくならない。また、各階の底で雨だれが切れる。これは村の民家の建築方法に学ぶところである。

(矢倉委員)

東側外観図、駐車場の入口について、現在の役場でも出入りの見通しが良くない。危険ではないか。石積みの高低差はどのくらいか。

(徳岡設計)

見通しを良くするため、現状の擁壁の隅を45度、切りこんでいる。擁壁の高いところは1メートルぐらいある。

(柴田委員)

村には高齢者が多い。道路も下りで、出る時も下りで事故の危険性は無いのか。

(下野主査)

現庁舎を使いながらの建設であること、開発不要の条件として宅地の高さ、擁壁の高さを変えることはできない、などのしぼりがある。出口近くの電柱の位置については土木事務所と協議中である。

(清水副村長)

この擁壁のブロック積みは必要か。斜めに切って斜面にし、あえてブロックを積まなくともよいのではないか。

(磯崎委員長)

基礎から全体を山側へ寄せることはできないか。

(清水副村長)

急傾斜地であり、安全性を考えると山側からは離したい。この件は検討したい。

(久保委員)

駐車場入り口の斜路、勾配はどのくらいか

(徳岡設計)

1/2分である。

(久保委員)

身障者用斜路の勾配は？

(徳岡設計)

1/2分である。

(久保委員)

身障者用斜路の勾配と同じで、緩やかな勾配であるといえる。このスロープを解消するのは物理的に無理であるから、危険を避けるための設備、安全装置を考えるべきである。

住民が使う1階だけでも開放的な明るい空間であることが望ましいが、すべての窓が腰高で、一昔前の校舎の建築のようである。エントランス周辺だけでも開放的にできないか。

(徳岡設計)

庁舎の広さが十分に無いという条件のなか、窓下にも収納スペースを設けるためである。エントランス周辺は窓を下げることは可能である。

(久保委員)

腰壁→バリア→構え、を作ってはいけない。家具を置くにしても入り口まわりくらいは足元から開放的にしたい。

6ページ断面図でスラブが建物にずっとまわっている下に庇がある。これは必要か。

(徳岡設計)

人が歩くところなので低めに設置している。

(久保委員)

ダブルで必要ない。合理的の一つにしてはどうか。予算上も無駄がない。

外壁については、白色が絶対に良い。景観との兼ね合い、漆喰板壁の文化もある。

汚れは避けられないが、光触媒など、コストの問題はあるだろうが、洗い落とせるような素材を選ぶとよい。

(西野委員)

バルコニーはどのような意味があるのか。デザイン的なものならば、将来漏水したりするのではないか。

(藤戸参事)

職員が外に出ることができる。非常時避難用、メンテナンスに使う。

(清水副村長)

将来は人口減少が予測されている。役所仕様でなく多用途に使い易い建物であること。財政面からも、業者を入れ足場を組むと費用がかかる。職員で清掃等のメンテナンスがしやすいように将来を考えての構造である。

(磯崎委員長)

手すりがないので安全面の配慮がいる。デザインのアクセントとしても省エネからも良いのではないか。

(藤戸参事)

メンテナンスの前提として安全対策は考慮して設計を進めていく。

(徳岡設計)

北側は消防車が寄りつける唯一の場所であるので、消防隊の活動のためにバルコニーも深くしている。格子の間が1メートル開いているところから入り窓から進入できる。東側の妻面も消防隊の進入の為にバルコニーを深くしている。あとの底は建設上の限界の幅である。

(久保委員)

バルコニーというかメンテナンスデッキというレベルかではあるが、消防上のことはルールがあるので、必要なことである。奥行のある部分については職員が外に出て休憩できるような積極性は少ないが、調光、省エネから無駄なものではない。手すり等安全面の工夫は必要だろう。

職員が窓拭きなどメンテナンスを行うというのは最近増えている。施設の長期利用のメンテナンスリストなども作って絶体絶命な状態にならないようにされたい。業者に依頼するにしても仮設足場関係のコストを削減できる。

(磯崎委員長)

他に意見ございませんか。事務局より次回日程を。

(赤阪室長)

今回の開催日程は現時点では未定であるが、議題の整理など整えて、日程調整させていただきます。